

諏訪市 業務改善計画

諏訪市教育委員会

1 基本目標

すべての小中学校、すべての授業で、質の高い授業を実現するために、また教員が子どもと向き合う時間を確保するために、学校と教員が担うべき業務を明確にし、分業化、協業化、効率化を進め、長時間勤務という働き方を改善する。

2 具体的な取組

(1) 意識改革と学校業務の見直し、協業化・分業化・外部化・システム化による業務の削減

学校

- ・出退勤ソフトによる在校等時間の管理
- ・自身の外勤務の状況を把握、改善
- ・定時退校日の設定
- ・勤務時間の割振りの年間計画等への明示
- ・会議の精選（回数、内容の重点化等）
- ・会議等の開始時刻と終了時刻の明記
- ・資料のペーパーレス化
- ・学校行事、反省と計画のあり方の見直し
- ・年間計画、日課の工夫（定期試験の採点時間確保、朝部活動廃止、勤務の割振りの明示等）
- ・長期休業中の学校閉庁日の設定
- ・長期休業のあり方の見直し
- ・専門スタッフ（支援員、SC、SSW、SSS、部活動指導員等）との連携
- ・統合型校務支援システムC4thの活用
- ・家庭からの欠席等連絡アプリの活用
- ・集金方法の改善（インターネットバンクの利用等） など

市教委

- 学校職員の勤務時間等に関する規定の改正により、業務を行う時間の上限を規定
- 諏訪市立小・中学校における教育職員の勤務時間の割振り実施要領を設置
- 規定等が順守されるための環境等の整備
- ・出退勤ソフトの導入と在校等時間の管理
- ・時間外留守番電話の導入
- ・統合型校務支援システムC4thの導入
- ・リモートワークを可能とする環境整備
- ・家庭からの欠席等連絡アプリの導入
- ・主催する会議等の精選
- ・専門スタッフ（支援員、SC、SSW、SSS、部活動指導員等）の任用 など

(2) 家庭・地域・関係機関・企業との連携・協業体制の構築

学校

- ・コミュニティスクールの仕組みの活用
- ・学校事務職員の教務会への位置付け
- ・学校の基本情報、児童生徒の活動、教職員の研修等のホームページでの発信 など

市教委

- ・コミュニティスクールの整備
- ・大学、企業等との連携推進
- ・部活動の地域移行に係る協議会の設置 など

(3) ワーク・エンゲージメントの高い職場づくりとワーク・ライフ・バランスの実現

学校

- ・部活動ガイドラインにもとづく運営方針の策定と、基準に沿った運営の徹底
- ・安全衛生委員会の定期的開催
- ・対話があり同僚性を高め続ける職場 など

市教委

- ・部活動ガイドラインの改定に向けた検討
- ・地域を学ぶ校外教員研修の拡充
- ・変形労働時間制の研究
- ・時差勤務、リモートワーク等の研究 など

3 評価指標

- ・時間外勤務時間 年平均 45 時間/月以下
- ・「学校に行くのが楽しい」（全国学調）90%以上